

平成30年11月 定例県議会

自民党香川県政会による代表質問の内容

来年度予算の編成について

災害対策と人口減少の克服、地域活力に力点

問：来年度当初予算は、3期目の知事が県政運営の考えを形にする年間総合予算であり、知事自らがリーダーシップを発揮し、本県の将来の発展にとって真に必要な施策を積極的に盛り込んだものとすべきだが、知事はどう取り組むのか。

答：(知事)来年度の予算編成にあたっては、「財政運営指針」に沿い、財政健全化への取り組みを行いつつ、限られた財源を効率的に活用し、「災害に強い香川づくり」と「人口減少問題の克服、地域活力の向上」に最も

力点を置きながら、本県の将来の発展のために必要な施策に積極的に取り組んでいく。

具体的には、防災・減災対策、県内企業の人材確保、「子育て県かがわ」の充実、健康づくり、AI・IoTによる産業振興、移住・定住や若者の県内定着、外国語教育など確かな学力の向上、など将来を展望した施策にも重点を置いて編成する。

「四国八十八箇所霊場と遍路道」の世界遺産登録について

機運の醸成と資産の保護措置を進める

問：四国八十八箇所霊場と遍路道の世界遺産登録には、国内暫定一覧表への追加記載が必要であり、これに向けた様々な取り組みが進められている。

そこで本県の札所寺院や遍路道についての調査や保全の取り組み状況と今後の取り組みについて知事に伺う。

答：(知事)本県の札所寺院の文化財調査は15箇所まで終了し、現在4箇所寺で実施中、未調査は3箇所となっている。



●写真はイメージです。

観光資源の有効活用による誘客について

地域の魅力ある観光資源の有効活用と情報発信で誘客促進を図る

遍路道については、根来寺道や大窪寺道、大興寺道などの調査が実施された。四国四県をはじめ経済

問：瀬戸内国際芸術祭や東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、本県に国内外からの観光客を呼び込む絶好の機会を迎えている。

従来、観光資源としてあまり取り上げられていなかった歴史的建造物や地域スポーツなどの新たな観光資源を効果的に活用することも、観光客の誘致に有効である。

界、霊場会などとも連携し、四国遍路の魅力を国内外へ発信することで機運の醸成を図りたい。

今後とも、着実に普遍的な価値の証明や資産の保護措置の取り組みを進めるとともに、文化庁などへの強い働きかけを行いたい。

観光資源の有効活用による誘客について、どう取り組んでいくのか。

答：(知事)県では、これまで瀬戸内海やアート、食などの本県ならではの観光資源を活用した体験メニューを取り入れた旅行商品の造成、サンポート高松でのサマーナイトフェスティバルの開催、栗林公園などでのライトアップの実施等、観光資源の夜の時間帯の活用にも努めてきた。

